

ツル渡来地

出水の これからを考える シンポジウム

平成30年2月16日(金) 18:00 ~ 20:30

プログラム

- 18:00 開会
出水市長 渋谷 俊彦
九州地方環境事務所
- 18:10 地域報告
ツル越冬地への立入規制について
出水市立鶴荘学園 8年生 上間 愛翔
- 18:30 海外講演
ラムサール登録湿地・順天湾の保全と持続的利用
韓国順天市順天湾保全課 黄 善美
逐次通訳 出水市国際交流推進員 姜 美貞
- 19:40 国内講演
奥入瀬溪流エコロードフェスタの取組
青森県県土整備部道路課 主査 工藤 一彦
- 20:05 総括
ツル越冬地・出水のあり方について
FLY&STAY ツーリズムかごしま主宰、
出水市観光アドバイザー 奈良迫 英光
- 20:25 閉会
出水市教育委員会 教育長 溝口 省三

2月のマイカー規制の実施に合わせ、地域の皆様と今後のツル渡来地・出水のあり方を考える機会として、昨年度の結果を振り返りながら、自然を守りつつ観光や農業の振興について考えるシンポジウムを開催します。

[会場] 出水市役所 1階多目的ホール
出水市緑町1番3号 0996-63-2111

[主催] (公財)日本生態系協会
[共催] 出水市、出水市教育委員会、九州地方環境事務所
[後援] (一社)出水市観光協会、鹿児島県(予定)
[定員] 80名(先着順、申し込み不要。直接会場へお越しください)



順天湾(韓国順天市)
出水市の姉妹都市である順天市にはナベヅルをはじめ10万羽以上の渡り鳥が飛来する順天湾の豊かな環境が保たれています。かつては不法投棄が後を立たない場でしたが、自然生態公園として保全することを市民が選択し、現在では韓国初のラムサール登録湿地となり、美しい景観を目当てに年間300万人以上の人々が訪れる観光地になっています。



奥入瀬溪流(青森県十和田市)
本州最北端の国立公園を流れる奥入瀬溪流は、特別保護地区に指定される非常に優れた自然環境が残されています。この地域の持続的な保全と自然を活かした地域振興のため、観光客や青森県民への啓発を目的に、平成15年度より多くの来訪者で賑わう10月最終週末に、地域の主要道路である国道102号線を約10km通行止めにする交通規制を行っています。

1月27日(土)・28日(日) 2月17日(土)・18日(日) 8:30-16:00

社会実験のため

ツル越冬地への マイカー規制を行います

*団体・ツアーバス、タクシー、お体が不自由な方がご乗車の車、地元住民の車は通行可能です

ツル観察には、クレインパークいずみで、有料専用シャトルバスへお乗換ください。
ご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。



クレインパークいずみ駐車場
出水市文化町1000番地
0996-63-8915 200台(無料)

専用シャトルバスをご利用ください
大人320円、大学・高校生250円、中学生以下120円

お問い合わせ

九州地方環境事務所出水自然保護官事務所
鹿児島県出水市文化町1000クレインパークいずみ内 電話 0996-63-8977
公益財団法人日本生態系協会
東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル 電話 03-5951-0244

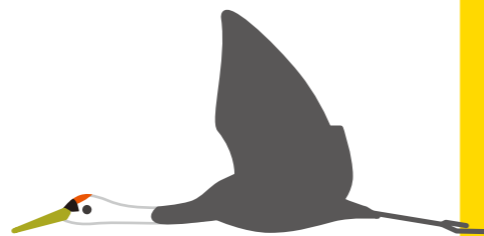
本事業の一部は平成29年度
地球環境基金の助成を受け実施します

九州地方環境事務所出水自然保護官事務所
Tel.0996-63-8977 出水市文化町1000クレインパークいずみ内

なぜ、マイカー規制をするのか？

越冬ツルの、いま

出水の冬の風物詩、ナベヅルやマナヅル。かつては、西日本の各地で越冬していましたが、開発などで生息環境が失われ、現在では世界のナベヅルの9割、マナヅルの5割が出水で越冬しています。その数はピーク時には合わせて約1万7千羽にもなりますが、国際的にみれば数が少なく保護が必要です。



抱えている問題

出水ではツルの保護や、ツルによる農業被害を防ぐために保護区内で給餌をしています。

しかし、その給餌により多くのカラスやカモ類が集まり、農業や漁業被害を引き起こしています。

また、あまりに多くの野鳥が集中するため、干拓地を出入りする自動車の消毒など鳥インフルエンザ対策の徹底が一層必要となっています。

この他にも、路上でツルを観察する人や車が地元の人の通行や農作業の妨げにもなっています。

立入規制の必要性

ツル越冬地では、一部が保護区となり、人や車の立入が禁止されていますが、社会実験の結果を踏まえ将来的には全体への立入規制も検討していきます。

それは、立ち入り車両が減ることで、上記にあげた鳥インフルエンザなどへのリスク管理の強化にもつながりまた、地元の人の通行や農作業の妨げとなる駐車を防ぎ、さらに、ツル観光をはじめとした地域産業の振興にもつなげ、人もツルもより安心して暮らせるようにするためでもあります。

この規制では、ツルを観察に訪れる方に、専用バスでガイドの説明を聞きながら、ツルや野鳥のこと、ツルとともに暮らす出水のことをより深く知り、関心を持っていただきたいと考えています。

ご理解とご協力、よろしく申し上げます。

ガイド付き専用シャトルバス（有料）



[往復乗車料金] 大人 320円、大学・高校生 250円、中学生以下 120円
●バス乗車チケットの提示で、クレインパークいずみ、ツル観察センター入場無料
車内では、出水の歴史や自然に詳しい専門家と、ツルガイド博士検定に合格した子供ガイドがご案内します。



合格率わずか1.6%の非常に難しい検定に合格した優秀な地元の子供ガイド

時刻表 30分間隔で運行（定員25名）

●クレインパークいずみ発

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	

●ツル観察センター発

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	

ツルのことがよくわかる見どころ満載の施設



ツル観察センター 9:00 ~ 17:00 開館

規制エリア内に立つ観察センターでは、間近に野生のツルを観察することができます。2階の展望スペースは一面ガラス張りで大パノラマ。また、センター内の売店や併設のお店、隣接する食堂では地元ならではのお土産や温かい飲み物や食べ物も購入できます。

クレインパークいずみ 9:00 ~ 17:00 開館

「ひと・まち・自然」をテーマに、世界のツルや出水で見られる野鳥のはく製などを展示しているほか、ツルの生態や出水でのツル保護の歴史を学ぶことができます。

屋台や売店が集合!

1/27-28,2/17-18には、魅力たっぷりの屋台や地元の特産品の売店がクレインパークに出店! ぜひお楽しみに。